

(広報資料)

平成 28 年 8 月 3 日

地方独立行政法人京都市立病院機構

(担当 京都市立病院事務局 311-5311)

(担当 京都市保健福祉局保健衛生推進室医務衛生課)

電話 2 2 2 - 4 2 7 2

平成 27 年度地方独立行政法人京都市立病院機構の決算概要について

京都市立病院（以下「市立病院」という。）及び京都市立京北病院（以下「京北病院」という。）は自治体病院として、感染症医療，救急医療やへき地医療などの政策医療をはじめ，市民の生命と健康を守るために，医療の質及び患者サービスの向上に取り組んでいます。

第 2 期中期計画期間の初年度となる平成 27 年度は，第 1 期中期計画に整備した医療機能を存分に活用した結果，市立病院での外来患者数の増加等により，両病院ともに過去最高の医業収益を達成しました。

一方で，いわゆるマイナス金利政策の影響による退職給付引当金の割引率の見直しにより現金支出を伴わない一時的な費用として，引当金を約 5 億円積み増したこと等により，経常損益は 6 億 9 6 百万円の赤字となりました。

今後は，第 2 期中期計画の取組を着実に推し進め，収支の黒字化に取り組んでまいります。

1 市立病院

外来患者数の増加などにより，医業収益は，市立病院開設以来の最高収益となる 1 4 5 億 4 0 百万円になり，前年度と比べ 3 億 5 6 百万円の増収となりました。

一方で，いわゆるマイナス金利政策の影響による退職給付引当金の割引率の見直しにより現金支出を伴わない一時的な費用として，引当金を約 5 億円積み増したこと，共済年金制度改正に伴う給与費の増加及び医療の高度化による材料費の高騰により，経常損益は 6 億 1 9 百万円の赤字となりました。

また，法改正により PCB（ポリ塩化ビフェニル）廃棄物の処理費用に係る引当金等 9 5 百万円を計上したことなどの臨時損失により，純損益は 7 億 1 4 百万円の赤字となりました。

平成 28 年度については，高度な急性期医療の提供など第 2 期中期計画期間における取組を着実に推し進め，更なる収益向上を図り，経常損益，純損益ともに黒字達成を目指してまいります。

2 市立京北病院

訪問診療の増加などにより、医業・介護収益は最高収益となる7億4百万円になり、前年度と比べ15百万円の増収となりました。

一方で、支出はいわゆるマイナス金利政策の影響による退職給付引当金の割引率の見直しにより現金支出を伴わない一時的な費用としての引当金の積増し及び医師の増員に伴う給与費の増加等により、経常損益、純損益ともに77百万円の赤字となりました。

平成28年度については、地域包括ケアの拠点施設として、在宅医療の強化及び入院患者の確保等により収益向上を図り、黒字化を目指してまいります。